

実用技術英語(機械制御工学系) (Practical English for Mechanical and Control Engineering)		1年・後期・2単位・選択 機械制御工学専攻・ 担当 福田 和廣・坂本 雅彦
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
	D-1 (80%), C-2 (20%)	(d-2a), (f)
〔講義の目的〕		
機械制御工学分野特有の英語表現に関する知識ならびに語彙などを習得することを目的に、当該分野の英語論文の読解能力を養成するとともにアブストラクト作成のテクニックを身に付ける。		
〔講義の概要〕		
前半は、各自が研究論文を選択し、当該論文の内容を2ページ(A4)程度に整理した上で当該内容について報告する。後半では、各自の特別研究内容を題材に、アブストラクトを作成の上、提出する。		
〔履修上の留意点〕		
選択する研究論文は、権威ある雑誌に掲載されている論文(数ページ程度)が好ましい。用いられている単語や語彙・表現方法に注意しながら読解に努めること。論文内容を整理する際には、報告する際の補助資料として使用するので、分かりやすくまとめること。また、アブストラクトの作成には、特別研究の調査及び客観的かつ明瞭な文書表現が欠かせない。当該研究の背景・目的・内容などについて調査・整理しておくこと。		
〔到達目標〕		
1) 機械制御工学分野の論文を読み、内容を正しく理解し説明ができること。 2) 特別研究の概要を英文で作成できること。		
〔評価方法〕		
英文技術論文の資料作成(50%)とアブストラクトの作成(50%)により総合的に評価する。		
〔教科書〕		
教科書は使用しない。適宜、プリント資料を配布する。		
〔補助教材・参考書〕		
科学・技術者のための英文レポートの書き方 岩田薫・米澤宣行 三共出版 科学英語の基礎 平田光男 科学同人		
〔関連科目〕		
技術英語、コミュニケーション英語		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	意義と目的	本講義の主旨（評価方法・講義計画などを含め）を説明する。	
第2週	文献検索方法の理解	各種文献検索の具体的な方法を理解・把握する。	
第3週	語彙関連表現	アブストラクト作成上、欠かせない語彙及び表現方法について解説する。	
第4週	論文内容報告（1）	各自が選択した論文の内容を整理し、説明する。	
第5週	論文内容報告（2）	各自が選択した論文の内容を整理し、説明する。	
第6週	論文内容報告（3）	各自が選択した論文の内容を整理し、説明する。	
第7週	論文内容報告（4）	各自が選択した論文の内容を整理し、説明する。	
第8週	論文内容報告（5）	各自が選択した論文の内容を整理し、説明する。	
第9週	論文内容報告（6）	各自が選択した論文の内容を整理し、説明する。	
第10週	論文内容報告（7）	各自が選択した論文の内容を整理し、説明する。	
第11週	英語によるプレゼンテーション（1）	特別研究内容を英語で発表し（1分程度）、質疑応答。	
第12週	英語によるプレゼンテーション（2）	特別研究内容を英語で発表し（1分程度）、質疑応答。	
第13週	研究概要（1）	アブストラクトを日本語で作成する。	
第14週	研究概要（2）	アブストラクトを英語で作成する。	
第15週	研究概要（3）	アブストラクトを英語で作成し、提出する。	
試験			

* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。
 （達成） （達成） （達成） （達成） （達成）